

# 平成 26 年度「幼稚園 学校評価」結果公表シート

学校法人 渋沢学園  
いずみ幼稚園

平成 26 年度の幼稚園評価として教職員の自己評価、学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが評価項目に沿って事故点検、自己評価を実施することによって自らが客観的に自園を見つめ直し、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点とし、更なる教育活動の充実と教職員の資質向上に努めてまいります。

## I 教育目標 『豊かな感性・たくましい心身・考える子』

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自然に触れ合い、命の尊さと優しい心を育む  |
| 2. 豊かな感性と健康でたくましい心身をつくる  |
| 3. 一人ひとりの個性を大切にして良さを引き出す |
| 4. 安全・生活・社会のルールを身につけさせる  |

## II 今年度の重点目標

1. 「ふれあい交流」〈人間関係・感情・思いやり・優しさ・挨拶（言葉）・社会のルール・役割〉
  - 異年齢交流
  - 元気な声で挨拶をする
  - 地域の方とのふれあい
  - 親子交流
  - 公共の施設を利用し、その場での約束やルールを学ぶ
  - 動物とのふれあい
2. 「自然体験」〈身体能力・思考力・見る力・想像力・表現力・開放感・感性〉
  - 園庭や園外に出掛け、自然と触れ合い、季節の変化に気付かせる
  - 積極的に戸外の遊びを取り入れる
  - 自然に触れ、体験した事を遊びや表現活動に取り入れる
  - 花や野菜の栽培を通して育てる喜びを味わい、食に関心を持ち食べる意欲を育む

## III 評価項目と取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育目標と重点目標の周知	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼稚園教育の目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知するよう努めている。(園だより、園通信、HP、PTA総会での説明等)</li><li>・ 全職員で共通理解を図りながら、クラス経営の充実を図っている。</li></ul>

幼稚園管理運営	危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの中で各職員の役割を明確にしている。</li> <li>・地震、火災の避難訓練や防犯訓練等を計画的に実施している。</li> <li>・外部侵入者対策として、「さすまた」と防犯カメラの増設。</li> <li>・園内での事故をなくすよう努めている。</li> <li>・「さすまた」「防災頭巾」「水消火器」を利用した避難・防災訓練の実施と、保護者の協力をいただき「一斉お迎え訓練」を行った。</li> <li>・施設的环境改善として本年度は西側通路補修工事を行なった。</li> </ul>
	家庭、地域、関係機関への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信や園だより・クラスだより・HP等を利用して情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を深める取組みをしている。またファミリーコンサートや人形劇、公開保育等に地域の方にも参加を呼びかけ地域との交流を図るよう努めた。</li> <li>・保育参観や懇談会は、なるべく参加しやすい日程を設定し、定期的実施している。</li> <li>・保護者アンケートを実施し幅広い声や意見を把握する事ができ、結果を書面等で公開し、今後の教育活動の参考とすることができた。</li> </ul>
教育活動	教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の職員会議や日々の打ち合わせ等で教育課程の編成(指導計画)や実施法(年案・月案・週案)について話し合い、教職員間の共通理解を図るために努力している。</li> <li>・園が定めている教育課程は、健康・人間関係・環境・言葉・表現について達成する目標をもち、編成するよう努めている。</li> </ul>
	発達段階に則した適切な幼児理解・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの発達段階に応じた適切な指導・援助に努めている。</li> <li>・必要に応じて加配教諭の配置、専門の外部支援員の観察・指導を受けている。</li> <li>・一人ひとりについて教職員の話し合いを密に行ない、情報の共有に努めている。</li> <li>・学年ごとのつながり、異年齢のたてわり活動を意識して保育に取り組んでいる。</li> <li>・自主的・主体的に学ぶ環境づくりをするよう努めている。</li> <li>・身近な自然や社会とかかわることができるように園外保育や散歩・施設訪問・施設利用などを行っている。</li> </ul>
	幼稚園と小学校との円滑な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の教育内容について理解したり園児の様子を知ってもらう為に幼保小中連絡会の他、年長児が近隣小学校との交流会を行ったり、行事の見学に行ったりしている。</li> </ul>
	教員の資質向上研究・研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研究保育を実施している。</li> <li>・園外(県内外)の研究会や研修会に参加し、職員の資質向上に役立っている。</li> </ul>

#### IV 総合評価

評価の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた  
C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

##### 【総合評価】

B

教職員一人ひとりが評価項目に対し積極的に取り組む姿が見られた。今後も更なる研鑽を積み、園児の個性を大切にしながら本園の教育目標に沿って引き続き園全体で取り組み、努力していきたい。

危機管理については環境整備・安全管理体制の点で努力が認められつつも更なる対策が必要であり、今後取り組むべき課題として対処していくつもりである。

#### V 今後取り組むべき課題

- ・園または教職員にとって必要な研修内容を検討し、計画的に園内外の研修に取り組むことで更なる教職員の資質向上を図る。職員全員参加での園内研修を行う。
- ・保育の取組みについて家庭・保護者との連携を大切にし、更なる信頼関係の向上に努める。
- ・保護者による自由参加型の「希望保育デー」を実施。概ね好評ではあったが導入方法等の検討を含め更なる工夫が必要。
- ・保護者の PTA 活動の負担軽減を図るように努める。
- ・園外活動の機会を増やし、身近で恵まれた自然や地域の方々と触れ合う活動を更に充実させる。
- ・安全管理体制全体の更なる見直しと改善。

#### VI 学校関係者の評価

- ・評価項目についてはおおむね達成出来ていて、妥当と認められる。
- ・子ども達に対する教職員の真摯な姿勢は評価できる。
- ・施設整備や安全管理については更なる努力が必要。
- ・いずみ幼稚園らしさを大切にしながらも時代に即した園児確保のための経営努力が必要。

#### VII 財務状況

公認会計士監査により、適正であると認められている。

